



タイ王国 品質と生産性を向上させる 園芸用有機育苗培土の現地製造に係る案件化調査 株式会社関東農産(栃木県那須町)



対象国の農業分野における開発ニーズ(課題)

- 農産物の品質と生産性の向上: 周辺国の農業開発の影響により農産物の品質と競争力が低下
- 生産コストや労働力の軽減: 農業人口減少、高齢化が顕著
- 農業資材産業の技術革新の推進: 農産物の品質と生産性向上のための資材や技術が不足

提案製品・技術

- 土壌と原材料の物理性、化学性のバランスを調整しながら、根の生育に適した、独自の培土製造技術
- サトウキビ、ココナツ等の食品加工残渣等の現地調達可能な未利用有機資材を用いた、良質で安価な園芸用有機育苗培土

本事業の内容

- 契約期間: 2020年5月～2021年7月
- 対象国・地域: タイ王国ロブリー県、ピサヌルーク県、スコタイ県、チェンライ県
- カウンターパート機関: タイ王国農業・協同組合省
- 案件概要: 良質な苗生産による農産物の生産性・品質の向上と市場競争力の強化、及び農家の収入増加を目的とし、タイ国内の未利用有機資源を利用した園芸用の有機育苗培土を開発製造・販売に係る事業計画を作成する。



弊社の培土で育てたレタス苗

開発ニーズへのアプローチ方法(ビジネスモデル)

弊社の海外事業を以下の4段階で展開することで、対象国の開発ニーズに応える計画としている。

- 第1段階: タイでの園芸用有機育苗培土の製造・販売
- 第2段階: 有機肥料製造と有機農業の技術確立普及
- 第3段階: 有機農業拡大に向けた苗生産ビジネス展開
- 第4段階: 培土原料と有機農業資材の輸出販売

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- 有機培土を利用した適正育苗の導入により、強健な苗を作り、移植後の栽培管理を簡易化することで農産物の生産性、品質が向上する
- 現地企業及びC/P機関と共に園芸用有機培土の利用技術を確立し、官民の農業人材育成に寄与する